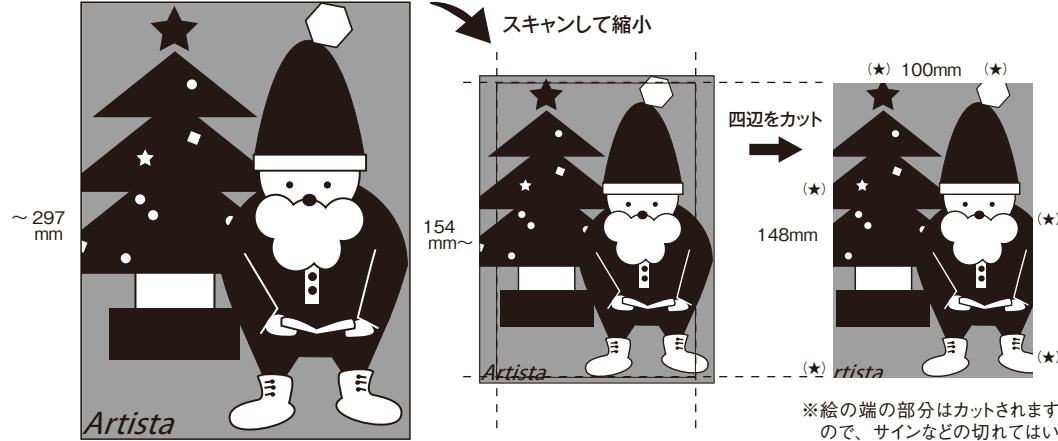


参考①: 原画応募の際の「フチ無し」「フチあり」について

① フチ無し印刷の場合

【A4サイズ以内の原画】
~210mm

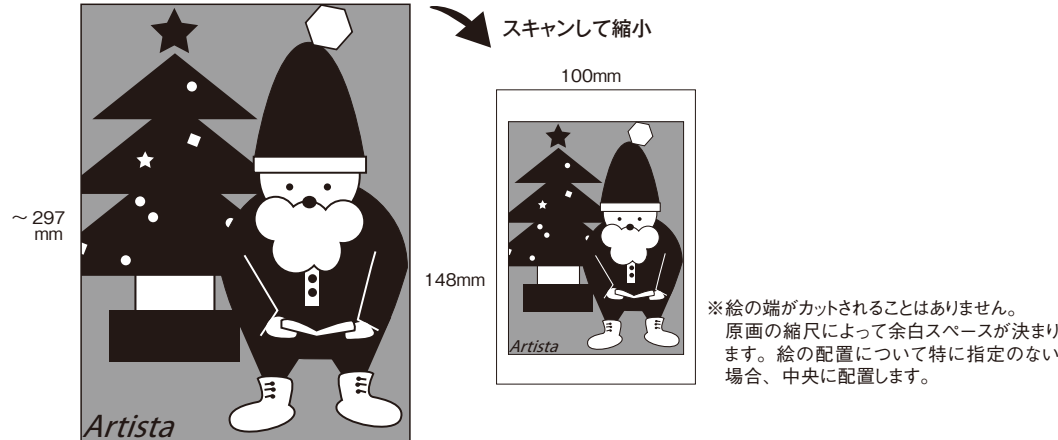


※これ以上大きなサイズは受付できません。

※絵の端の部分はカットされますので、サインなどの切れてはいけない部分はなるべく内側に入れてください。
(★部分を原画と比べてみると切れた部分わかります。)

② フチあり印刷の場合

【A4サイズ以内の原画】
~210mm



※絵の端がカットされることはありません。原画の縮尺によって余白スペースが決まります。絵の配置について特に指定のない場合、中央に配置します。

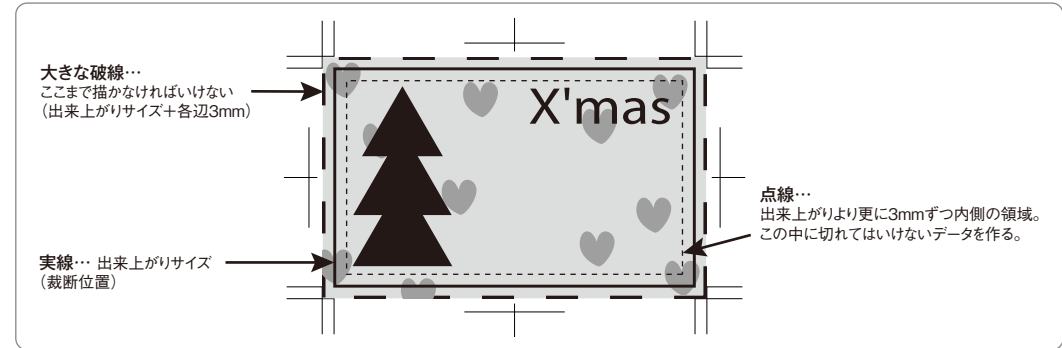
※どちらの印刷を希望されるか、原画の裏にご記入ください。

参考②: なぜ完成サイズよりも3mm大きく描くの?なぜサインは内側に書くの?

データ作成の基本

- ・大きな破線 (一番外の線) …データ作成サイズ
- ・実線 (中央の線) …出来上がりサイズ (裁断サイズ)
- ・点線 (一番内側の線) …出来上がりより更に3mm内側の領域

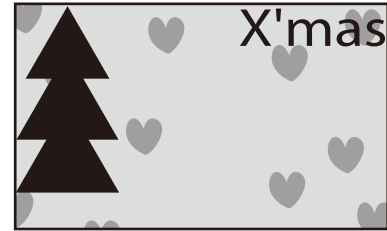
※説明用に線を描いているだけです。実際は線は描かないでください。



どうしてこのようにするかというと・・・
印刷ずれ・裁断ずれは±3mmずれまで考慮しなければなりません。
(実際そこまでずれることはまずないのですが)
なので、下図↓のように裁ち位置 (実線) ぎりぎりに配置して、裁断が少しでも右・下にずれると・・・

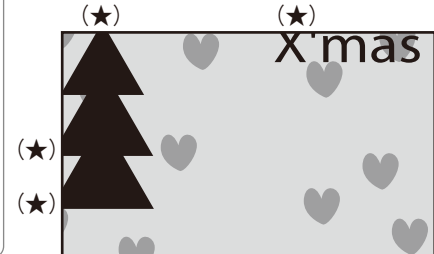


Aで切った時 (正しい位置)



本当はAで切るのにBになってしまった!

Bで切った時 (ずれた位置)



(★)の部分が切れてしまうのです・・・

※よって原寸で描く場合には、サインなどは出来上がり線よりも更に3mm内側に書いてください。原寸より大きく描く場合には縮小されることを考えて、サインなどは更に内側に書いてください。

上の説明図の中の破線・実線・点線は位置をわかりやすくするために書いたものです。実際には、線は絶対に書かないでください!!